



姉妹都市提携20周年で タイラー市を訪問

姉妹都市提携20周年を記念し、八千代市から周郷紀男会長を団長とする親善訪問団44名が平成24年10月17日から22日までタイラー市を訪問しました。20周年記念式典やレセプションのほか、第79回ローズクイーン戴冠式見学やパレードに参加するなど友好親善を深めました。名誉団長の豊田俊郎市長をはじめ、市議会議長、副議長、議員2名が参加され、更に今回は若い世代にも姉妹都市交流を知ってもらおうと高校生10名が参加しました。高校生たちは、グレースコミュニティ高校訪問やホームステイなどで友好を深めていたようです。

▼最初に八千代市へ来訪された故ジョージ・ハム氏が学長をしていたテキサス大学タイラー校で記念撮影





姉妹都市提携20周年記念を迎 新しい姉妹都市交流

今回は、姉妹都市提携20周年記念式典への参加やローズフェスティバルの見学などでタイラー市を訪問した親善訪問団の様子を紹介します。高校生10名の感想は4ページと5ページに掲載してあります。

20年間の思い出の写真がスクリーンに

ダラス・フォートワース空港では、タイラー姉妹都市委員会が理事をしているトニー・只左さんが迎えに来ており、専用バスで午後4時ごろタイラー市に向けて出発し、夕方、タイラー市に着きました。

2日目は、表敬訪問と記念式典参加のため午前8時30分に専用バスでタイラー市役所へ。到着後、パット・ジョーンズ会長とバーバラ・バス市長のあいさつがあり、また在ヒューストン総領事館の山本条太総領事からのメッセージが読み上げられました。八千代市を代表して今回名誉団長をお願いした豊田市長から20周年記念のあいさつがあり、高校生を代表して今泉若菜さんから「訪問が実現して大変興奮しています。滞在は短いですが、できるだけ多くの人とお話しがしたいし、アメリカの文化を知り、私たちの英語が良くなればと思っています」とスピーチがありました。

この後周郷紀男会長からあいさつがあり、記念品の交換や八千代市国際交流協会からタイラー市に20周年記念の盾を贈りました。会場を移し、今は亡きカズエ・ジョンソンさんの業績を称え、モミジの木を記念植樹



▲前回八千代市訪問の際、さよならパーティーでダンスを披露されたマッカーラーご夫妻の素晴らしいお庭で記念撮影

し、ご冥福をお祈りしました。

テキサス大学タイラー校に着いたのは午前11時20分で、ランチの後学内を見学し、八千代市に来られる外国語指導助手とお会いしたほか、高校生の皆さんは大学生との交流を深めていました。午後1時45分専用バスに乗り、同大学のヘルス・サイエンス・センターへ。ここでは最新医療の説明がされ、台風が来たとき避難するシェルターを見せていただきました。午後4時30分にホテルに着き、レセプションの開始まで小休止となりました。午後6時30分ごろからいよいよ姉妹都市提携20周年記念レセプション。パット・ジョーンズ会長が司会をされ、タイラー・ジュニア・カレッジのマイケル・メトク学長があいさつをされ、来年3月訪日予定のチアリーダーの「アパッチベルズ」を紹介。またスクリーンにこれまでの写真が写し出され、出席者

えて がスタート



▲2010年8月16日に亡くなられたカズエ・ジョンソンさんの業績を称え記念植樹

全員が懐かしがっていたようです。この後、八千代市国際交流協会が制作した「20年の歩み」のアルバム8冊が贈呈されました。タイラー市長、八千代市長のあいさつの後、高校生の入江魁刀さんからのあいさつがありました。周郷会長からあいさつした後、ベティ・パウアー元会長と周郷会長が対談形式で思い出話を語っていただきました。最後にヘンリー・ベル元会長の祝杯の音頭で、このレセプションを終えることができました。

高校生、グレース・C高校を訪問

3日目、高校生は午前中別行動。午前8時45分にグレース・コミュニティ高校（9学年～12学年）を訪問し、歴史、数学、英語等の授業に参加しました。また、地元新聞社の記者から同行したボランティア通訳の多田久尚さんに対し、高校生の選抜方法等について取材がありました。高校生はグレース・コミュニティ高校対ゴーマン高校のフットボール試合を観戦し、この日の夜は、ホームステイ先でホストファミリーと一緒に過ごしました。大人たちは、専用バスで午後4時45分にホテルを出発し、午後5時から1時間半、マッカーラーさんの家でカクテルパーティーに参加しました。この後、ローズクィーンの戴冠式が午後6時50分から始まり、その素晴らしい参加者一同十分満足していたようです。

4日目、午前中はローズフェスティバルのパレードと午後はバラ園で行われたクィーンズティー。午後5

訪問を終えて

タイラー市親善訪問団
団長 周郷紀男



早いもので今は亡き仲村和平市長とスミス・レイノルズ・ジュニア市長が姉妹都市提携に調印してから20年が過ぎました。ご努力いただきました関係者の皆様方に心から感謝申し上げる次第でございます。

今回の訪問団は高校生が10名も参加し、国際交流協会としては高校生に研修を受けていただくなど、万全の準備を整えてきました。今回の訪問に際しては、タイラー姉妹都市委員会のパット・ジョーンズ会長をはじめ、多くの理事の方々にお世話になり、本当にありがとうございました。今回初めて高校生の訪問が実現したことにより、TJCの学長さんから奨学金2名のお話があり、若い層の姉妹都市交流に明るい希望が持てるようになりました。どうか会員の皆様におかれましては、次回タイラー市からの受入準備と共に両市民の友好が更に発展するようご協力をお願い申し上げ、ごあいさついたします。

時ごろからタイラー湖の近くにある別荘でバーベキュー・パーティーが開催されました。ウエスタンショーやカントリー・ミュージック、タップダンスなどを見ながら楽しい夜を過ごしました。

5日目は9組に別れてホームビジット。午後6時からウィロー・ブルック・カントリークラブでさよならパーティーが開催されました。訪問団全員で「ふるさと」「上を向いて歩こう」などを歌い、みんなで「炭坑節」を踊り交流を深めました。高校生の横川舞夏さんが感謝とお礼を述べ、これから始まる新しい姉妹都市交流に期待を寄せていました。訪問を終えて豊田市長から「将来を担う若い世代が、これまで育んだ両市の友好の絆を一層強固なものとし、更にその経験を通じて世界へ大きくはばたいてくれるものと信じています」との感想をいただきました。（三橋伸一郎）

▼さよならパーティーのときみんなで「炭坑節」を踊りました



| 日 | | 程 | | 表 | |
|-----------|-------|-------------------------------|-----------|-------|-------------------------------|
| 10月17日(水) | 12:05 | 成田空港発 | | 13:00 | プラネタリウム見学 |
| | 08:45 | ダラス・フォートワース空港着 | | 15:45 | 高校生ホームステイに出发 |
| 10月18日(木) | 15:00 | テキサスレンジャースの本拠地 アーリントン球場を見学 | | 17:00 | カクテルパーティー (大人のみ) |
| | 16:00 | 専用バスでタイラー市へ | | 18:50 | ローズクィーン戴冠式見学 |
| | 19:55 | ホテル着 (18:30/タイラー市で夕食) | 10月20日(土) | 08:30 | ローズフェスティバルパレード見学 |
| 10月19日(金) | 09:05 | タイラー市役所表敬訪問 | | 12:35 | 消防署デモンストレーション見学 |
| | 11:20 | テキサス大学タイラー校着 | | 13:00 | クィーンズティー見学 |
| | 14:10 | ヘルスサイエンスセンター見学 | | 17:10 | バーベキューパーティー |
| | 18:35 | 姉妹都市交流20周年記念式典及び レセプション | 10月21日(日) | 11:00 | ホームビジットに参加 (大人のみ)。高 校生は別行動 |
| 10月22日(月) | 08:45 | グレース・コミュニティ高校着 | | 18:00 | さよならパーティー |
| | 10:15 | 日本庭園着 (大人のみ) | | | |
| | 10:45 | タイラー美術館見学 (大人のみ) | | | |
| | 11:30 | TJC着 (12:10/高校生着) | | | |

タイラー市訪問を終えて

今回の高校生の派遣は、タイラー市において高校訪問やホームステイ等の交流体験を通じて異文化に対する理解を深め、国際的視野を持った青少年を育成し、両市の一層の友好親善を図ることがねらいです。アメリカでどのような体験ができたのか、参加者の皆さんが書いてくれた感想文を紹介しします。(敬称略)



●自分が大きく成長

テキサスの人は皆優しく温かく私たちを迎えてくれ、幸せな思い出ばかりです。けれど同時に感謝の気持ちを伝えきれないことに苦痛を感じ、もっと英語を話し使いこなしたいという気持ちがあふれてきました。私はこの1週間で自分が大きく成長したことを身にしみて感じることができたので、今後も多くの高校生がこの交流に携われたいと思います。



今泉若菜
八千代松陰高校
3年

●人間としてひとまわり成長

八千代市内の高校生代表として、この派遣に参加したことで、人間としてひとまわり成長することができたと思います。外国の良い点やそうでない点を知り、その吸収してきた良い点を生かしていければいいなと思っています。今後の八千代市だけでなく、日本の国際関係の形成につなげていきたいと思っています。



入江魁刀
千葉英和高校
3年

●悔い残らぬよう役目を

アメリカへの渡航は今回が初めてではなく、二度目でした。実は去年、英語学習と称し行ったばかりでした。しかし、英語が全く話せず、悔しい思いを残していたので、これは良い機会だと思い応募し、参加させて頂きました。八千代市の高校生代表としての自覚を持ち、悔いの残らないよう役目を果たしてきました。参加できて良かったです。



大空未弥
津田沼高校
2年

●後悔したこともいくつか

私はこの派遣に参加することができてとっても良かったです。人生が変わったと思います。楽しかったことは数えきれないほどありましたが、後悔したこともいくつかあります。それは、もっともっと英語で会話をしておけば良かったなと言うこととか、時差ボケにやられてしまったことです。時差ボケをなめていた自分がばかでした。「時差ボケに効く薬はない」。



白鳥友風
昭和学院
秀英高校2年

●相手を理解する姿勢が大切

私が今回の高校生派遣訪問団に参加して思ったことは、国際交流で大切なのは積極的に相手のことを理解しようとする姿勢だと思いました。うまく英語が伝わらない時でもあきらめず頑張って伝わった時は、とてもうれしかったです。これからはもっと英語を勉強し、国を超えて様々な人と気持ちを伝え合えるように積極的に交流をしたいと思います。



和多田 桃
津田沼高校
2年

●みんなに良い刺激を

私は今まで一度も外国へ行ったことはありませんでした。最初は知らないことも多く、自分の英語にも自信がなかったのが本当にアメリカに行っても大丈夫なのか不安でした。しかし、一緒に行った高校生みんなに良い刺激をもらい、積極的に話しかけてくれたタイラー市のみなさんとも仲良くなることができました。とても良い経験になりました。



武村智花
成田国際高校
1年

●最高の思い出に

今回、私は初めての海外でした。だから言葉は通じるのかとか食べ物に合うかとか、いろんな不安でいっぱいでした。けどこの高校生10名と国際交流協会の方々のお蔭で、最高の思い出になりました。普通の旅行では絶対に体験できないことができて、今回のこのメンバーでタイラーに行けて本当に良かったです。



大角麻亜紗
県立船橋高校
1年

●この経験を次のステップへ

私が一番思い出に残っていることは、やはり人との関わりです。短い期間だったけどお世話になった添乗員や職員の方、ステイ先の家族、学校訪問で会った友だちや行く先々で出会った人たち。そして一緒に過ごしたみんなに感謝すると共に何を学び、感じ、思ったのかそれぞれの思い出を忘れずにこの経験を次のステップとして役立てていきたいです。



横川舞夏
成田国際高校
1年

●自分や日本を見つめ直したい

一番印象に残ったことは、グレース・コミュニティ高校のキリスト教の授業です。聖書の朗読を聞き、歌を歌い、お祈りをしていました。歌いたくて歌い、心から祈り、楽しんでいる彼らの姿を素敵だと思いました。もっと彼らについて知り、自分や日本を見つめ直したい。そのためにも、これを始めとしてタイラーの方々と末永く交流を続けていきます。



木村 萌
県立船橋高校
1年

●充実したアメリカでの生活

成田空港を出発して約12時間後、アメリカのダラス空港に到着しました。アメリカに着いて空港を出た瞬間「ここがアメリカか!」と、とても興奮して1日目のスタジアム見学から大学訪問、ローズフェスティバルなどを通して充実したアメリカでの生活を送ることができました。だからこの経験を生かしてこれからを過ごして行きたいです。



亘 健太郎
船橋芝山高校
1年

20年のあゆみ



1990年5月16日、調印式を終え握手をするときは両市長

1991年5月 富岡助役を団長とする市職員一行5名の調査団が姉妹都市提携について協議するためタイラー市を訪問

1991年9月 派遣依頼してあった2名の英語指導助手(A.L.T)が八千代市に着任

1991年10月 八千代市議会議員15名が28日、29日の両日タイ

ラー市を訪問

1991年12月 平成3年第4回定例会議に姉妹都市協定の締結案を上程

1991年12月 同議会において全会一致で姉妹都市協定の締結案を20日に可決

1992年1月 テキサス大学タイラー校ハム学長夫妻が事前調査のため16日から18日まで八千代市を訪問

1992年5月 姉妹都市提携調印式を行うためタイラー市へ訪問団24名を15日から19日まで派遣

1992年8月 姉妹都市提携調印式を市民会館で行うためタイラー市親善訪問団(団長/ノーマン・シュトフマン氏)33名の受入れを22日から28日まで行う

1993年4月 周郷紀男氏を団長とする親善訪問団19名が15日から18日までタイラー市を訪問

1993年12月 タイラー市から中学生サッカーチーム(選手17名・保護者等11名)を22日から28日までコミュニティ・ワールド・カップ・サッカー in 八千代「中学生の部」に参加のため受入れを行う

1994年3月 市民団体等で組織される八千代国際姉妹都市委員会を30日に設立

1994年5月 達窟谷庸介氏を団長とする親善訪問団12名が19日

から22日までタイラー市を訪問

1994年10月 タイラー市親善訪問団(団長/ノーマン・シュトフマン氏)41名が25日から29日まで八千代市を訪問

1996年3月 八千代少年少女合唱団(指揮者/長岡利香子・団員46名・保護者等12名)が24日から28日までTJCでコンサートを開催するためタイラー市を訪問

1996年4月 山崎寿徳氏を団長とする親善訪問団41名が18日から22日までタイラー市制150周年記念祭に参加のためタイラー市を訪問

1997年8月 タイラー市親善訪問団(団長/パット・ジョーンズ氏)71名(内TJC関係者43名)を21日から25日まで受入れを行う

1998年10月 周郷紀男氏を団長とする親善訪問団28名が15日から19日までタイラー市を訪問

2000年8月 タイラー市親善訪問団(団長/パット・ジョーンズ氏)39名を18日から22日まで受入れを行う

2002年10月 周郷紀男氏を団長とする親善訪問団32名が17日から21日まで姉妹都市提携10周年を記念してタイラー市を訪問

2004年8月 タイラー市親善訪問団(団長/ゲイリー・スウィン

ドル氏)14名を20日から24日まで受入れを行う

2006年1月 八千代市国際交流協会が21日に発足

2006年3月 周郷紀男氏を団長とする親善訪問団15名が27日から31日までタイラー市を訪問

2006年3月 八千代少年少女合唱団(指揮者/長岡利香子・団員39名・合唱団もりのうた等26名)が25日から31日までTJCハーモニー&アンダースタンディングとのジョイント・コンサートを開催のためタイラー市を訪問

2007年6月 タイラー市親善訪問団(団長/ベティー・パウアー氏)33名を29日から7月3日まで受入れを行う

2009年10月 周郷紀男氏を団長とする親善訪問団18名が15日から20日までタイラー市を訪問。10月16日を「八千代の日」としてタイラー市が制定

2010年7月 タイラー市親善訪問団(団長/ヘンリー・バル氏)25名を15日から19日まで受入れを行う

2012年10月 周郷紀男氏を団長とする親善訪問団44名が17日から22日まで姉妹都市提携20周年を記念してタイラー市を訪問。その内、高校生10名(23日帰国)は初めての派遣

第7回インターナショナルデイ タイラー市派遣の高校生を紹介

平成24年9月9日(日)午後1時からフルルガーデン噴水広場で第7回インターナショナルデイ「八千代で世界と出会おう」が開催されました。

このイベントは、市内に在住する外国人登録者に楽しく、有意義に交流する場を提供し、外国人を含めた地域のネットワークづくりの一助となることを目的に毎年秋に実施しているものです。今年も、タイラー市との姉妹都市提携20周年記念の年を迎え、お祝いの垂れ幕とテキサス州の州旗が舞台に置かれました。開会式では豊田市長からタイラー市へ派遣される高校生10名の紹介があり、その後各自から親善訪問の抱負が元氣よく述べられました。舞台上で最初の出演者はカントリーバンド、プラウド・チェロキーで、テキサス州を中心とするカントリーの名曲が数々披露されました。

次に東京成徳大学の皆さんからダンス、軽音楽、吹奏楽が演奏され、最後はスタジオ・エルマナス・八千代支部の皆さんから迫力のあるフラメンコダンスが披露されました。毎年多くのファンから支持されているこのイベントは、今年も集まった多くの方々に感銘を与えた一日になったようです。(瀬下和正)

▼出演者も役員も全員で記念撮影



あり、メンバーの英語の向上に役立つことができました。翌日は吹き割れの滝を見学し、晩秋の紅葉を堪能して八千代市に戻りました。今年も有意義な語学研修旅行を終ることができました。(喜田茂)

▼草津温泉のホテル前にて全員で記念撮影



ファッションの紹介があり、女性の皆さんは素敵な衣装に見入っていました。最後に「八千代ふるさと音頭」を大使夫人ともども一緒になって踊り、和やかに再会を約束して閉会しました。(岩井覚)

▼大使夫人と周郷会長を囲んで記念撮影



第6回サバイバル日本語講座を開催

日本語を母語としない子ども(JSL)が日本語と楽しく接することを目的に、会場の村上公民館に近い村上地区のほかに勝田台、米本等の地区から小中学生等24名が参加し、平成24年8月21日(火)から23日(木)の3日間サバイバル日本語講座を開催しました。

今回は東京成徳大学生も加わり、八千代リーダーズクラブの指導でダンスやゲームを元氣一杯楽しみ、自然環境や施設を探索するネイチャーゲームと工作、プラネタリウムでの星座学習など多様な学習を行いました。最後の日、小学生は昔話の紙芝居による聞き取り学習をした後で、ボランティアの支援を受けて絵日記を書きました。中学生は感想文の書き方の学習の後、

英語ゲームを楽しみました。今回は高校生になった先輩たちがボランティアとして初めて活躍し、ボランティアから高い評価を受けました。(鈴木正俊)

▼楽しかった3日間を終え全員で記念撮影



な2時間でした。また、東京成徳大学人文学部のホームページにこの研修の内容が詳しく掲載されています。私たちの活動が徐々に地域に浸透してきていることを感じてうれしく思いました。

来年度も語学研修会開催を計画しています。ご期待ください。(河合晴子)

▼興味ある内容で貴重な意見も出された語学研修会



第12回語学研修旅行 晩秋の草津温泉を楽しむ

秋恒例の第12回語学ボランティア部会の語学研修旅行が平成24年11月16日(金)・17日(土)に実施されました。参加者は英語指導助手のヘイリー、エリカ(両名はタイラー市)、アンジェラ(ロスアンジェルズ市)先生及び千葉英和高校のレイ先生とウガンダ出身のカイヤさんの5名と部会メンバー18名の計23名で、過去最多の参加者になりました。

メンバーは140年前に建設された富岡製糸工場を見学し、絹産業の歴史的な役割など多くのことを学びました。車中は英語と日本語で大いに盛り上がり、宿泊先の草津温泉では外国人先生によるスピーチ研修会を開催。また食事の英会話等で英語を話す機会が多く

「わが国・わが町自慢」で ザンビア大使夫人と語る

駐日ザンビア共和国特命全権大使夫人を囲んで、当協会の団体会員であるJA八千代市女性部を中心に平成24年8月30日(木)に八千代台東南公共センターで懇談会を開催しました。

大使夫人は、豊田市長を表敬訪問された後、会場入りされました。会場では、JA女性部の皆さんが午前中から手作りケーキなどを作り、おもてなしの準備を整えていただきました。懇談会は、初めに映像を見ながらザンビアの紹介などが行われ、体験コーナーでは大使夫人に千葉県産の郷土料理「花寿司」の太巻き寿司作りを体験していただき、ザンビアの主食である「シマ」を試食することが出来ました。また、ザンビアの

マーガレット准教授を迎え 第5回語学研修会を開催

語学ボランティア部会による第5回語学研修会が平成24年9月29日(土)午後2時から八千代市福祉センターで開催されました。講師に東京成徳大学の鷹武・マーガレット・パイン准教授をお招きし、「変わるものもあれば変わらぬものもあります：私から見た日本の40年間の変化」という演題で講演していただきました。

アメリカから来日し、先生の目を通して見た日本の40年の歳月を多くの事例と共にお話してくださいました。先生と同年代の参加者が多く、お話を聞きながら自分の過去を振り返って懐かしんでいる様子でした。また、3人の子どもを育てていることにも触れられ、教育に関する意識も高く貴重なご意見をお伺いすることができました。とても興味のある内容で有意義

24年度予算 概要は次のとおり

八千代市国際交流協会の平成24年度予算が平成24年4月28日(土)に行われた総会で決まりました。その概要は次のとおりです

■収入 単位：円

| 科 目 | 金 額 |
|---------|------------------|
| 1. 会費収入 | 1. 会費収入 643,000 |
| 2. 補助金 | 1. 補助金 1,600,000 |
| 3. 繰越金 | 1. 繰越金 198,803 |
| 4. 雑収入 | 1. 雑収入 300,197 |
| 合 計 | 2,742,000 |

■支出

| 科 目 | 金 額 | 摘 要 |
|------------------|------------------------|--|
| 1. 事業費 1,360,000 | 1. インターナショナルデイ 300,000 | 謝金 150,000 出演者・協力者謝金 |
| | | 需用費 120,000 本部費・ブース制作費 |
| | | 役務費 30,000 イベント告知など |
| | 2. タイラー市訪問 300,000 | 需用費 150,000 記念品等 |
| | | 役務費 150,000 20周年記念誌制作費等 |
| | 3. 広報事業費 180,000 | 需用費 130,000 クリッピー印刷費 |
| | | 委託料 50,000 ホームページ制作委託料 |
| | 4. 部会事業費 580,000 | 部会事業費 580,000 国際姉妹都市部会、語学ボランティア部会、日本語指導ボランティア部会、国際交流促進部会 |
| 2. 事務費 1,192,000 | 1. 事務費 1,192,000 | 需用費 102,000 事務用品・会議用茶葉代 |
| | | 役務費 200,000 会議通知・資料送付・電話代等 |
| | | 備品購入費 50,000 |
| | | 人件費 770,000 事務職員給与・労災 |
| | | 研修費 30,000 研修参加費補助 |
| | | 負担金 10,000 千葉県国際交流センター団体会費 |
| | | 交際費 30,000 |
| 3. 予備費 190,000 | 1. 予備費 190,000 | 予備費 190,000 |
| 合 計 | 合 計 | 2,742,000 |

単位：円

第6回日本語スピーチ大会 平成25年1月26日(土)に開催予定

第6回日本語スピーチ大会は、平成25年1月26日(土)午前10時から八千代台東南公共センターの商工会議所で開催する予定です。

昨年度の大会では、市内の日本語教室から8名が登場し、国際交流協会会長賞は「9・11事件について残る疑問」ハミルトン・ジェイソンさん(米国)、「今の自分」ソマリバ・ロドリゴさん(アルゼンチン)、「体にいいパンを作ります」ティエリシオさん(フランス)の3人に。審査員特別賞は「原子力発電について」女子高校生マイトアイカム・ミィさん(ベトナム)にそれぞれ贈られました。

泉妻ご夫妻によるアイリッシュハーブと西洋のこぎりの素晴らしい演奏、そして最後の懇親会では、安福さんのお手製カレーを頂きながら草の根の国際交流は和やかに広がり、学習者は家族を交え、ボランティア講師とともに会話が大いに弾みました。

今回も市内在住の外国人の皆様の応募を楽しみにお待ちしております。(齋藤貴美子)



平成24年度篤行者表彰 副会長の 桑原将彦氏が受賞

桑原さんは、平成4年に八千代市とタイラー市との姉妹都市提携調印式に参加された後、平成6年の八千代国際姉妹都市委員会設立に伴い委員となりました。平成8年と10年の2回にわたりタイラー市への親善訪問団として参加され、平成12年にタイラー市からの訪問団受け入れの際には実行委員長として、ふるさと親子祭りの花火大会などに招待し交流を深めました。また、日本文化の体験の場を多く作り、タイラー市からの訪問団に大変喜ばれました。

平成18年八千代市国際交流協会の設立と同時に理事に就任し、平成23年には同協会の副会長に就任し、国際姉妹都市部会長を兼ね、現在も活躍中です。

会員募集中

八千代市国際交流協会では会員を募集中です。詳しくは事務局(047-752-0593)へお問い合わせください。年会費は個人2,000円、家族3,000円、学生1,000円、団体会員10,000円となっています。また、新しい情報はホームページをご覧ください。アドレスは次のとおりです。(http://www.yia-kokusai2006.com)

八千代市国際交流協会

検索

八千代へようこそ

市内の中学校では、現在5人の外国語指導助手(ALT)が英語の指導をしています。9月に着任した2人の新しい先生を紹介します。

日本の文化や歴史を 楽しみたい

エリカ・チェイスさん
(アメリカ・タイラー市)



日本の文化や歴史に興味があったので、日本に来ることができてとてもうれしいです。祭やお茶会にも参加してみたいですね。八千代はきれいな公園があって素晴らしい所だと思います。みんなと仲良くなって、お互いに学び合える関係になりたいです。

アメリカと日本の 橋渡しを

アンジェラ・ドネリーさん
(アメリカ・ロスアンゼルス市)



日本の景色はとても美しいですね。いろいろな所に行って絵を描いてみたいです。学校では、子どもたちが英語を学ぶお手伝いをしながら、私も日本の文化を学んで、アメリカと日本の橋渡しができるように頑張りたいと思います。

編集後記

テキサス州タイラー市との姉妹都市交流が20年を迎えました。また、青少年交流が主体のタイ王国バンコク都との友好都市交流は24年の長きにわたります。この2つの国際交流は八千代市が誇る大きな財産です。若い高校生にとって、今回のタイラー市訪問は素晴らしい経験になったことと思います。米国でのホーム・ステイ、フットボール試合の観戦、高校での礼拝参加と米国の文化、習慣を学びました。同時にタイラーの高校生は初めて見る日本の制服、着物に目を奪われていました。

社会が成熟し共生の時代に入りました。また、グローバル化の進展と共に市内に多く外国人が居住し、多文化共生の時代になりました。国際交流協会は毎週開催される日本語指導教室のほかに、スピーチ大会、サバイバル日本語講座、語学研修会、語学研修旅行、大使夫人との懇親会等、多彩な事業を行っています。国際交流にご興味のある方は是非ご入会頂き、国際交流を推進してみたいかがでしょうか。(瀬下和正)